



三菱 LED 照明器具

LED シーリングライト

形名	6畳	8畳	10畳
トリムレス	EL-CP3210N	EL-CP3810N	EL-CP4410N

取扱説明書

このたびは三菱 LED 照明器具をお買上げいただきまして
まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 保証書は、「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保存してください。
- 添付別紙の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」は、大切に保存してください。

工事店様へ
工事終了後、この「取扱説明書」を必ずお客様へ
お渡しください。

もくじ

ページ

ご使用の前に

安全のために必ずお守りください……	2
お願ひ……………	3
ご使用についてのお知らせ……………	3
リモコン使用上のお願い……………	4

使いかた

各部のなまえ・付属部品……………	5
ご使用の前に……………	6
開梱後の器具の取り外しかた……………	6
器具の取り付けかた……………	7
リモコンの準備……………	10
・乾電池の入れかた……………	10
・チャンネルの設定……………	11
点灯・消灯のしかた……………	12
・リモコンで操作する……………	12
・壁スイッチで操作する……………	12
連続調光……………	13
段調光……………	13
シーン……………	14
おやすみ30分……………	14
器具の取り外しかた……………	15

お手入れ

お手入れ……………	16
-----------	----

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら……………	17
仕様……………	18
保証とアフターサービス……………	19
愛情点検……………	20

安全のために必ずお守りください

お使いになる人や、他の人への危害、財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。

「表示の説明」は、誤った取扱いをしたときに生じる危害・損害の区分を説明し、「図記号の説明」は図記号の意味を示しています。

表示の説明

	警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
	注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

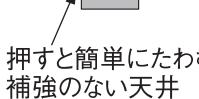
図記号の説明

	禁止		分解禁止
	接触禁止		指示を守る

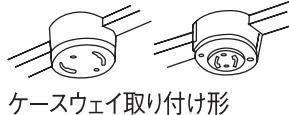
!**警告**

このような場所には取り付けない。
(器具の落下によるけがの原因)

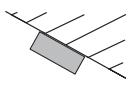
禁止



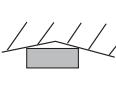
押すと簡単にたわむ
補強のない天井



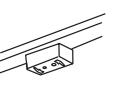
ケースウェイ取り付け形
ローゼット、シーリング



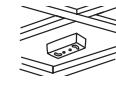
傾斜天井



舟底天井



竿縁天井



格子天井

このような配線器具には取り付けない。
(火災・感電・器具の落下によるけがの原因)

禁止



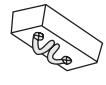
欠け
割れ
破損しているもの



ガタつくもの



19mm未満
使用不可
角形・丸形引掛
シーリング



電源が露出しているもの



10mm未満
使用不可
引掛け埋込ローゼット

このような場合は、
電気工事店に依頼して
配線器具を交換する。



分解禁止

- 器具の分解や改造、構成部品の交換はしない。
(火災・感電・故障の原因)
- 器具のすき間やコネクタに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない。
(感電・故障の原因)
- 定格電圧 交流100V以外で使用しない。
(過熱し、火災の原因)
- 浴室などの湿気の多い場所(85%RHを超える)や、常時温度の高い場所(35°Cを超える)では使用しない。
(絶縁性能が低下し、火災・感電の原因)
- 調光器では使用しない。(100%点灯でも使用不可)
(過熱し、火災の原因)
- 器具の真下にストーブなどを置かない。
(過熱し、火災の原因)
- 屋外で使用しない。(この器具は屋内専用です。)
(火災・感電の原因)
- チューブをはずさない。
(万一、コネクタ部から発火した際の延焼防止)
- 本体裏側のスポンジをはがさない。
(器具のガタつきや回転防止)
- アダプタを外すとき、ボタンを押さずに無理に回さない。
(角形引掛けシーリングなどの破損の原因)



厳守

- 天井に配線器具が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取り付け工事を依頼する。
(工事には資格が必要)
- アダプタは専用(付属部品)のものを使用する。
(専用のもの以外を使用すると、破損のおそれ)
- アダプタ・本体は確実に取り付ける。
(落下してけがの原因)
- 中央キャップは確実に取り付ける。
(万一、コネクタ部から発火した際の延焼防止)
- アダプタのチューブをずらしてコネクタを確実におおう。
(万一、コネクタ部から発火した際の延焼防止)

! 注意



接触禁止

- 点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているので触らない。(やけどの原因)



禁止

- 器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない。(器具の落下によるけがの原因)
- カバーを外したまま、使用しない。
カバーを外して、点灯しているLED光源を直視しない。
(目を傷めたり、目に悪影響を及ぼす原因)
- コネクタや電線を無理に引っぱらない。
コネクタを無理に引き抜かない。
(電線が断線し、感電、故障の原因)
- カバーを正しく取り付けた後は、カバーを無理に回さない。
(器具の破損、落下によるけがの原因)
- 電線を取り外す際には、配線押さえに触れない。(手をけがする原因)
- みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり殺虫剤をかけたりしない。
(割れ、傷、変色および落下によるけがの原因)



厳守

- 取り付け、取り外し、お手入れの際は電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る。
(電源を切らないと感電の原因)
(コネクタ差し込み時にLEDが点灯して目を傷める原因)

- アダプタを取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、外れないことを確認する。
(取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因)

- 本体に掛かるアダプタの爪の位置が配線器具で変わります。適切な爪(両側2ヶ所)が本体に掛かっていることを確認する。
(取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因)

- カバーを取り付け後、軽く下に引っぱり、外れないことを確認する。(取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因)

- 本体がアダプタから外れた際、本体が落下しないように、確実に本体を押さえながら作業する。
(手を離すと本体落下によるけがの原因)

- お手入れ・保守点検の際は手袋を着用する。
(着用しないとけがの原因)

- 照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能いうわけではありません。

※使用条件は周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

- 1年に1回は日本照明工業会の「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発火・感電・落下などに至る場合があります。

※「安全チェックシート」は(一社)日本照明工業会のホームページよりダウンロードできます。URL <http://www.jilma.or.jp>

お願い

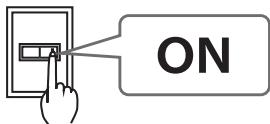
- 1年に1回の「安全チェックシート」による自主点検、及び3年に1回の工事店などの専門家による点検を実施する。
- アダプタは専用(付属部品)のものを使用する。(器具破損の原因)

ご使用についてのお知らせ

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが作動しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- 短い停電(0.2秒~2秒以内)や電圧の低下などにより、点灯状態が切り替わる場合があります。長時間、器具を使用しない場合は電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切ることをおすすめします。ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。
- LED光源のみの交換はできません。交換の際は器具ごと交換してください。
- LED素子は製造上、発光色、明るさにバラツキがあります。そのため、同一形名商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる、またはムラが生じる場合があります。
- 天井の材質や構造によって、器具取り付け天井面が変色する場合があります。
- 温泉地などの腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生する場合があります。
- 器具部品の伸縮により、点灯中や消灯直後にきしみ音が発生する場合があります。
- カメラまたはビデオカメラで器具を撮影すると、モニターや撮影画像に線や模様が入る場合があります。

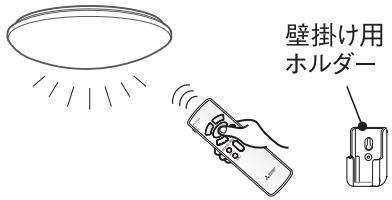
リモコン使用上のお願い

- 壁スイッチはONにしてご使用ください。



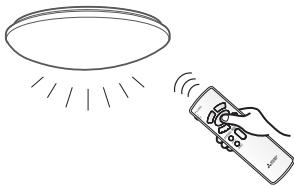
壁スイッチはONにする

- リモコンは壁掛け用ホルダーから取り出して、器具に向けて操作してください。



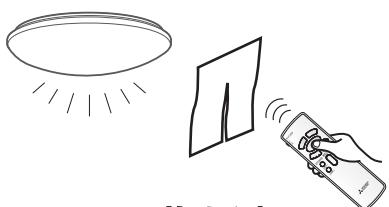
器具に向けて操作する

- 周囲の環境条件、天井・壁・床の色や材質などにより、リモコンが操作しにくい場合があります。その場合は、器具に近づけてリモコン操作をしてください。



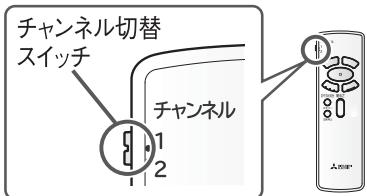
器具に近づけて操作する

- リモコンと器具の間にしゃへい物があると器具が作動しない場合があります。その場合は、しゃへい物を避けてリモコン操作をしてください。



しゃへい物を避ける

- 器具とリモコンのチャンネルを合わせて操作してください。
「チャンネルの設定」→(P.11)をご参照ください。

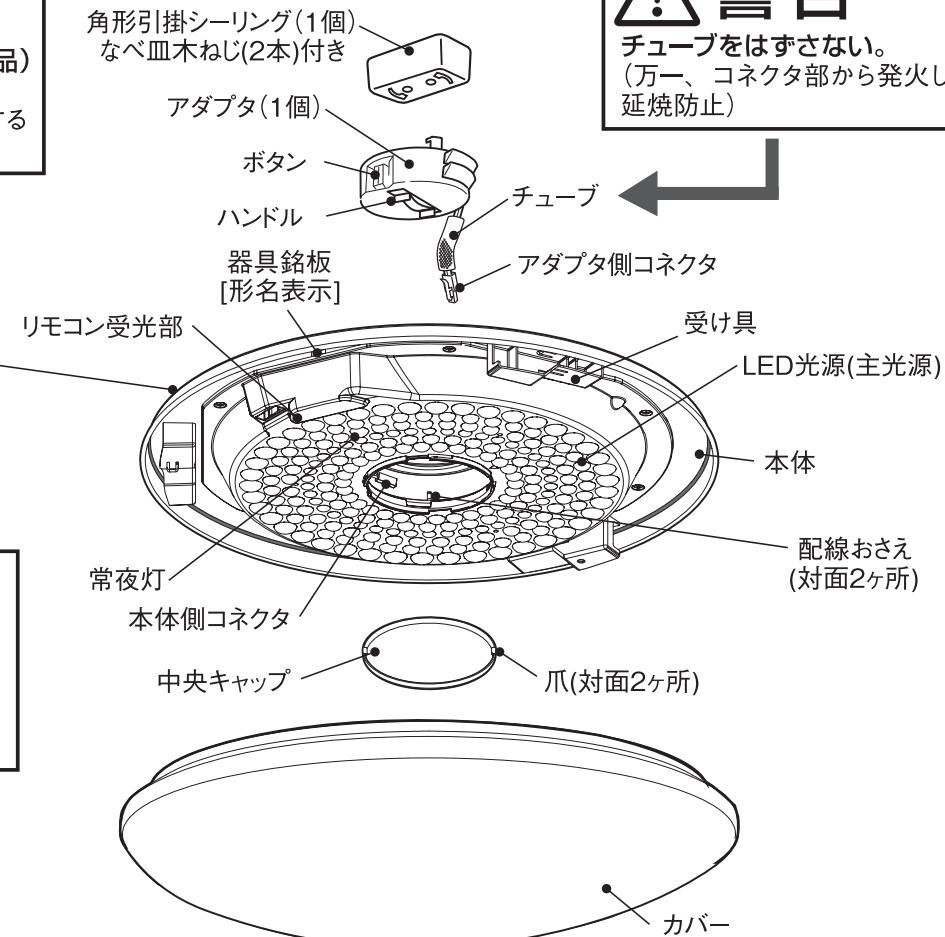
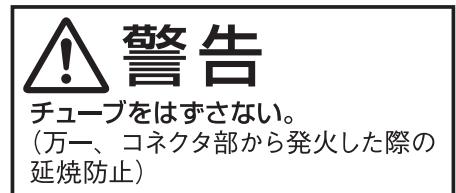
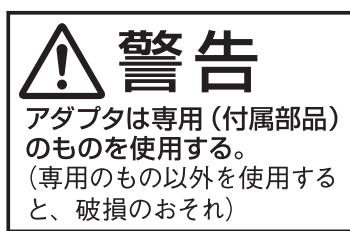


チャンネルを合わせる

- 温度が高くなる物の上や湿気の多い場所でのご使用や、水にぬらしたりしないでください。また、リモコンを落としたり衝撃を与えるたりしないでください。(変形や故障の原因)

各部のなまえ・付属部品

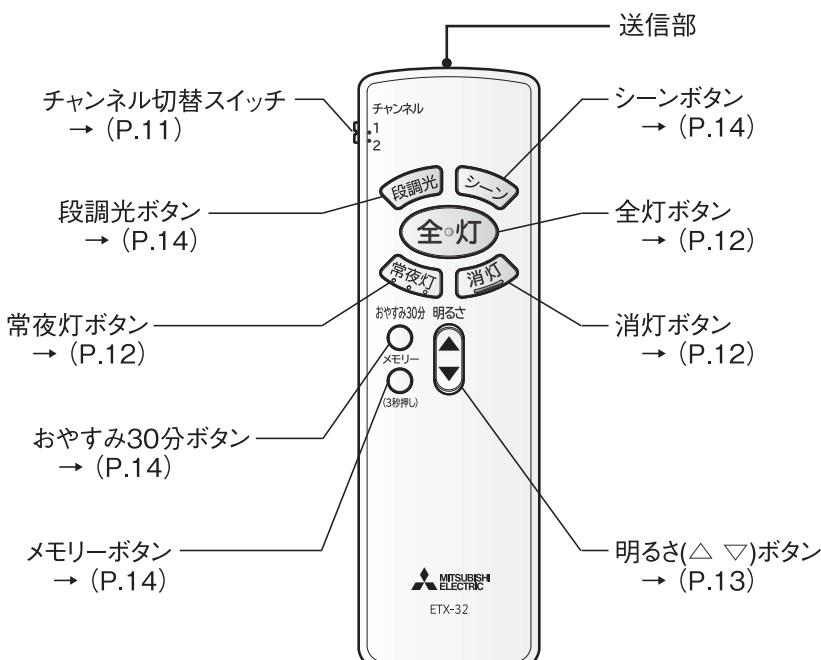
●下図を参照して、各部品をお確かめください。※図は取り扱い方法を説明するための、簡略図になっています。



※上図はEL-CP4410Nで説明しています。

リモコン(形名: ETX-32)

付属部品



ご使用の前に

- 天井にこのような配線器具がついている場合は、電気工事なしで器具が取り付けられます。
ただし、このような配線器具でも取り付けてはいけないものがあります。
→(P.2)「△警告 このような配線器具には取り付けない」



角形・丸形引掛シーリング



引掛埋込ローゼット



高荷重形引掛シーリング・ローゼット



警告

天井に配線器具が付いていない場合は、
電気工事店（有資格者）に取り付け工事を
依頼する。
(工事には資格が必要)

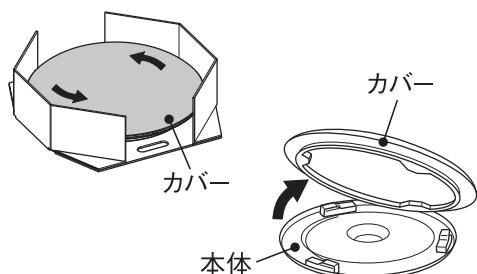
- 天井に上図の配線器具が設置されていない場合は、取り付けられません。
電気店・工事店にご相談ください。
配線器具などの工事は、電気工事の有資格者による施工が義務づけられています。
お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）

開梱後の器具の取り外しかた

※器具は包装用部品に固定されていますので、下記にしたがい取り外してください。
無理に外すと器具部品の破損などの原因となります。

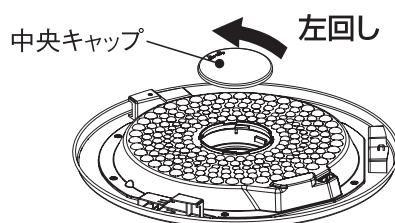
1 カバーを本体から外す。

カバーを左に回し、ゆっくりと
カバーを持ち上げる。
無理に外すとカバー破損の
おそれがあります。



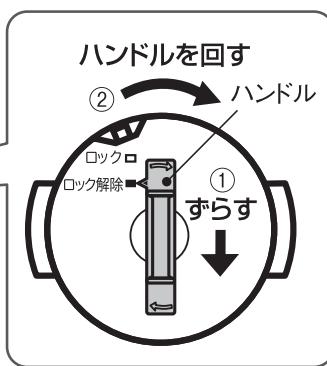
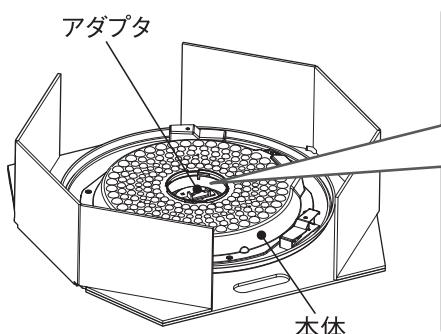
2 中央キャップを外す。

本体中央の中央キャップを
左に回して取外してください。



3 本体を外す。

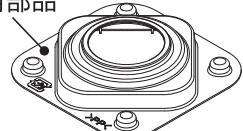
①アダプタのハンドルを「ロック解除」の位置にずらす。
②アダプタをつかみ、ハンドルを右に回して本体からアダプタを取り外す。
アダプタが本体の奥に入っているときは、本体を取り外した
あと、包装用部品の裏側から取り出してください。



お願い

この部品は、包装用部品です。
器具の取り付けには使用しません。

包装用部品



器具の取り付けかた

1

電源（壁スイッチまたはブレーカ）を切る。

ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。

注意

器具の取り付けの際は、電源を切る。
(電源を切らないと、感電の原因)
(コネクタ差し込み時にLEDが点灯して目を傷める原因)

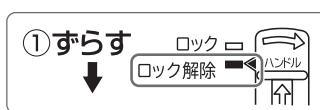
2

配線器具にアダプタを取り付ける。

①アダプタのハンドルが「ロック解除」の位置になっていることを確認する。

なっていない場合は、「ロック解除」の位置にすらす。

ハンドルの「◀」マークが
「ロック解除」の位置



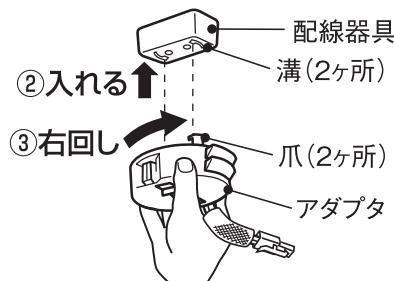
警告

チューブをはずさない。
(万一、コネクタ部から発火した際の
延焼防止)

②配線器具（角形引掛シーリングなど）
の溝にアダプタの爪を入れる。

※必ず同梱しているアダプタを
使用してください。

③右方向にいっぱいまで回す。
●ロックが掛かり固定されます。

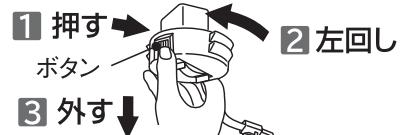


注意

取り付け後、ボタンを押さずに
左方向に回し、外れないことを
確認する。
(取り付けが不完全な場合、器具の
落下によるけがの原因)

アダプタを取り外す場合は

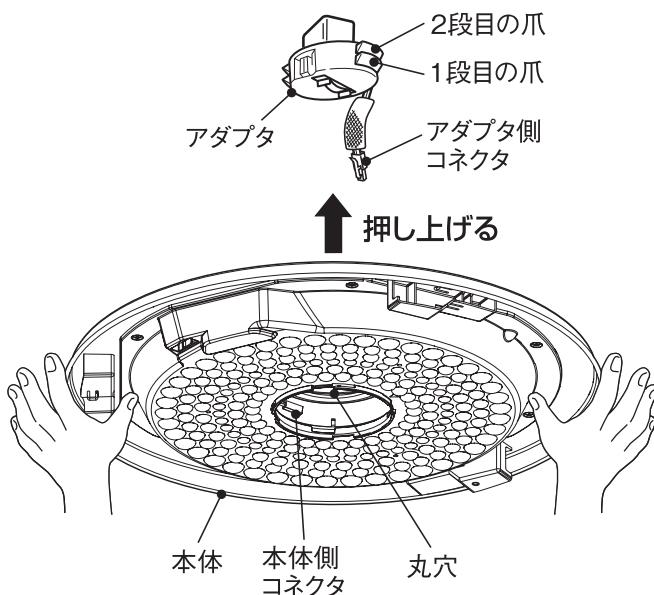
●ボタンを押しながら、左方向
へ回してください。



3

アダプタに本体を取り付ける。

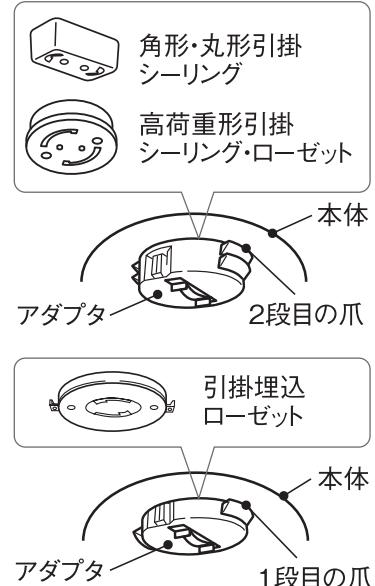
本体を両手で持ち、アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通しながら、アダプタの1段目の爪または2段目の爪（両側2ヶ所）に掛かるまで押し上げる。



注意

本体に掛かる爪の位置が配線器具で変わります。下図を参照し、適切な爪（両側2ヶ所）が本体に掛かっていることを確認する。

(取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因)

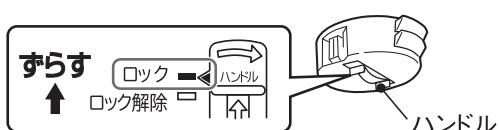


警告

アダプタ・本体は確実に取り付ける。
(落下してけがの原因)

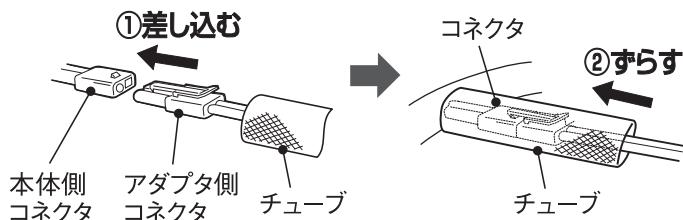
4

ハンドルを「ロック」の位置にずらす。

**5**

コネクタを接続する。

- ①アダプタ側コネクタと本体側コネクタを確実に差し込む。
- ②チューブをずらしてコネクタをおおう。



注意

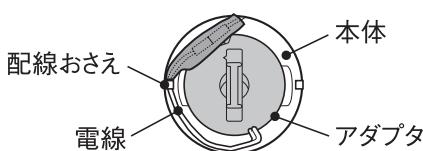
コネクタや電線を無理に引っ張らない。
(電線が断線し、感電、故障の原因)

警告

アダプタのチューブをずらしてコネクタを確実におおう。
(万一、コネクタ部から発火した際の延焼防止)

6

アダプタ側の電線を、配線おさえに引っかける。



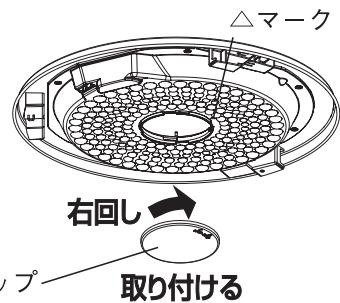
注意

コネクタや電線を無理に引っ張らない。
(電線が断線し、感電、故障の原因)

7

中央キャップを取り付ける。

- 本体の△マークの位置と中央キャップ△の位置を合わせてはめ込み、右に回して、△の位置に合わせてください。



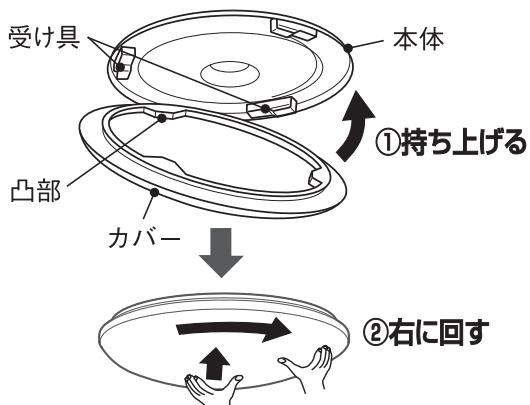
警告

中央キャップは必ず取り付ける。
(万一、コネクタ部から発火した際の
延焼防止)

8

カバーを本体に取り付ける。

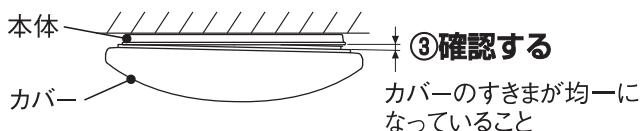
- ①本体の受け具横にカバーの凸部を合わせ、本体内側にカバーをあてて、カバーを持ち上げる。
- ②カバーを押し上げながら、「カチン」と音がして止まるまで右に回す。



注意

- 取り付け後、カバーを軽く下に引っぱり、外れないことを確認する。
(取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因)
- カバーを正しく取り付けた後は、カバーを無理に回さない。
(器具の破損、落下によるけがの原因)
- カバーを外したまま、使用しない。
カバーを外して、点灯しているLED光源を直視しない。
(目を傷めたり、目に悪影響を及ぼす原因)

- ③カバーが傾いて取り付いていないか確認する。



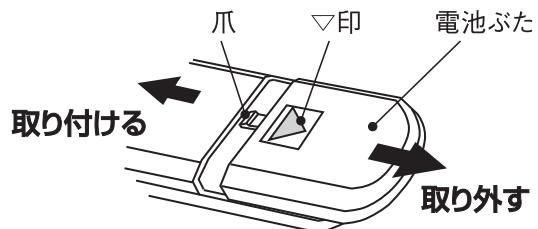
リモコンの準備

乾電池の入れかた

1 リモコン裏面の電池ぶたの△印を押しながら、電池ぶたをずらして取り外す。

2 付属の単3形乾電池を+/-の表示に合わせて入れる。

3 リモコンに電池ぶたをかぶせ、△印を押しながら、リモコンに爪が入って「パチン」と音がするまでずらして取り付ける。



乾電池についてのお願い

- 乾電池を誤って使うと液もれや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み、注意してご使用ください。
 - ・電池の液が目に入った場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けること。
 - ・発熱、液もれ、破裂、機器破損のおそれがあるので、+/-逆接続、ショート、分解、新旧電池や銘柄の違う電池・異種電池の混用、充電、加熱、火に入れるなどしないこと。
 - ・電池の液が、皮ふや衣類に付着した場合には水で洗い流すこと。
- 液もれによる故障の原因となるので、長時間使用しない場合は乾電池を取り外しておいてください。
- リモコンの乾電池は、約半年を目安に交換してください。
- 付属の乾電池は、リモコン操作確認用として同梱していますので、使える期間が短い場合があります。

リモコンについてのお知らせ

- リモコンは当社の照明器具専用です。テレビなど他の機器には使用できません。
- リモコンで消灯した場合は、約 0.6 W以下の電力を消費します。(マイコンを使用しているためわずかな電流が流れます) 長時間使わないときは、壁スイッチを切ってください。
- リモコンを落としたり、水をかけたり、踏みつけたりしないでください。故障となります。
- リモコンの送信部と照明器具の受信部は、汚れると動作しにくくなります。汚れたら乾いた布で拭いてください。また、電池が消耗すると動作しにくくなりますので、その場合は新しい電池と交換してください。
- 照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- 点灯直後や全灯点灯時、調光時などに、リモコンで切り替えにくいことがあります。その場合は、しばらくしてから切り替えてください。
- リモコンで消灯した後に停電が発生した場合、全灯点灯などになることがあります。
- 2台の照明器具を一つのリモコンで操作する場合は、照明器具のチャンネルとリモコンのチャンネルを合わせて操作してください。
- インバータ照明器具が取り付けられた部屋で使用する場合は、インバータ照明器具から 1.5 m以上離して取り付けてください。
- 電池を破棄する場合は、各自治体の指示にしたがって破棄してください。プラス (+) ・マイナス (-) 端子に絶縁性テープを貼るなどして、絶縁状態にしてから破棄してください。
- リモコンが動作しなくなったり、反応が鈍くなったりしたときは、全て新しい電池に交換してください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

チャンネルの設定

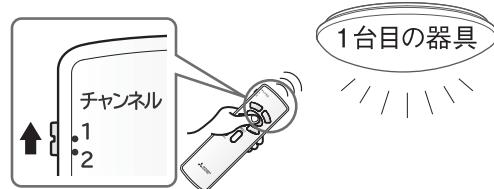
※出荷時は、チャンネル「1」に設定していますので、出荷時の状態でご使用いただけます。

お部屋でご使用になる照明器具の台数に応じ、チャンネルを設定してください。

※リモコンを器具に向けて操作してください。

1台のリモコンで1台の器具を操作する場合

チャンネル切替スイッチを「1」にして操作します。

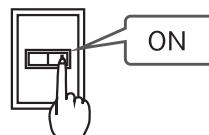


1台のリモコンで2台の器具を別々に操作する場合

※1台目の器具がチャンネル「1」の場合、2台目はチャンネル「2」に設定してください。

1 チャンネル設定を行う2台目の器具のみ 壁スイッチをONにする。

※1台目の器具と2台目の器具が同じ壁スイッチの場合は、1台目のコネクタを外してください。
「P.15 5 コネクタを外す。」をご参照ください。



2 リモコンのチャンネル切替スイッチを「2」の位置にする。



3 2台目の器具にリモコンを向け、 全灯ボタンを約3秒間、長押しする。

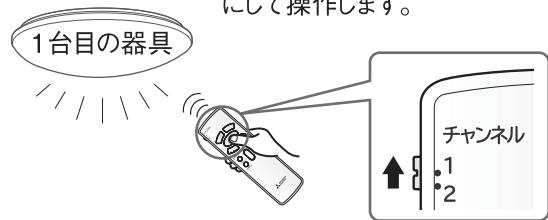


●器具から電子音が「ピピッ」と鳴り、
設定の完了をお知らせします。

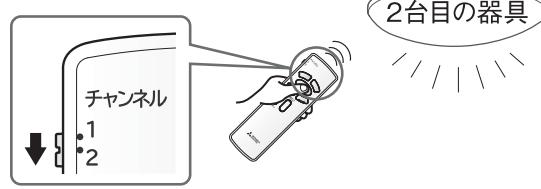


●チャンネル設定が完了したら、リモコンを各々の器具に向けて操作してください。

チャンネル切替スイッチを「1」にして操作します。



チャンネル切替スイッチを「2」にして操作します。



点灯・消灯のしかた

リモコンで操作する

壁スイッチをONにして、リモコンを器具に向けて操作します。

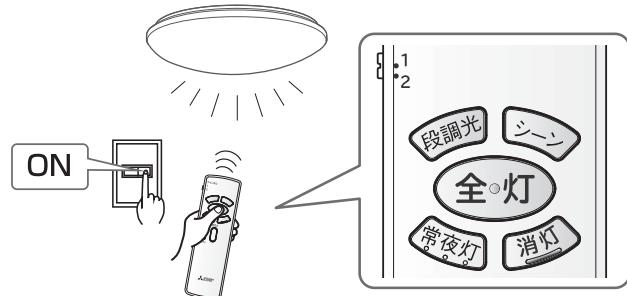
※器具を取り付ける際にブレーカを切った場合にはブレーカを入れてください。

点灯するとき

- 全・灯 ボタン、シーン ボタン、常夜灯 ボタンのいずれかを押します。

消灯するとき

- 消灯 ボタンを押します。



器具の電子音を消すとき（解除も同一操作）

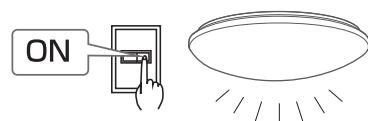
点灯状態の場合は、リモコンで消灯してから次の操作をしてください。

- 壁スイッチがONの状態で、明るさ(▲▼)ボタンを約10秒間長押ししてください。

壁スイッチで操作する

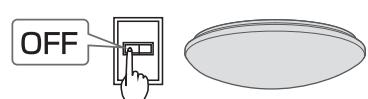
点灯するとき

壁スイッチをONにします。



消灯するとき

壁スイッチをOFFにします。



点灯状態を切り替えるとき

壁スイッチがONの状態で、約1秒を目安に「OFF→ON」することで器具の点灯状態を切り替えることができます。

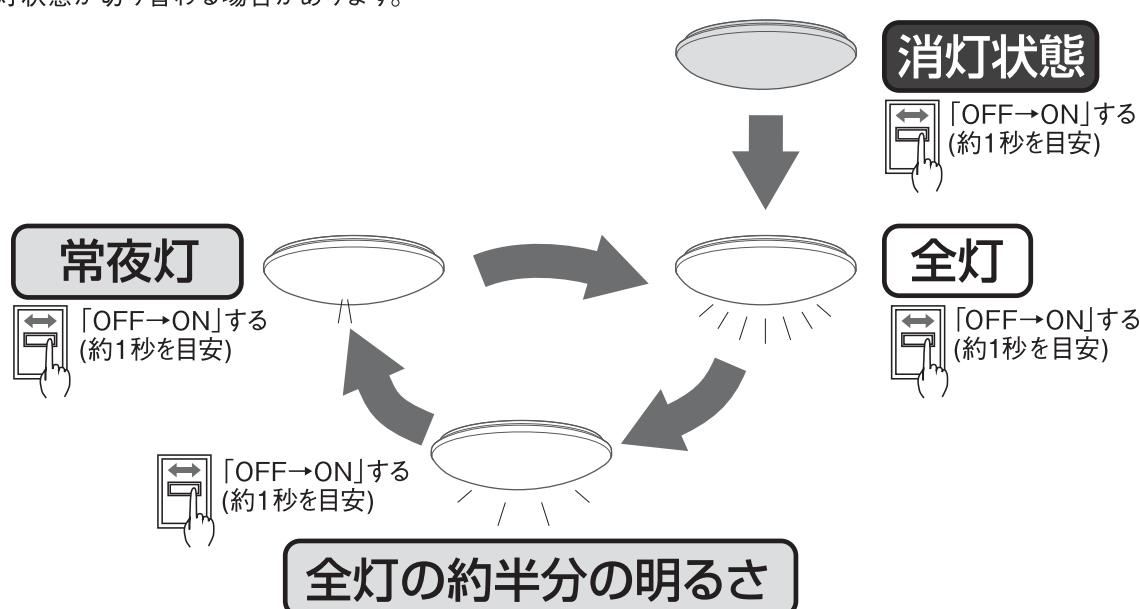
※1個の壁スイッチで2台以上の器具を使用すると、点灯状態が同時に切り替わらない場合があります。

※0.2秒以下や2秒を超えた場合は検知しないので、点灯状態の切り替えはできません。

- シーン ボタン、段調光 ボタン、明るさ(▲▼)ボタンで明かりを調整した点灯状態

から、約1秒を目安に「OFF→ON」すると常夜灯になります。

※落雷などによる短い停電(0.2~2秒以内)が発生した際にも、
点灯状態が切り替わる場合があります。



連続調光

主光源・常夜灯の明るさを 100% (明) ~ 約 5% (暗) の範囲できめ細かく調整できます。



調整のしかた

点灯している状態で、明るさ (▲ ▼) ボタンを押す。

- 調整範囲いっぱいまでいくと電子音が「ピピッ」と鳴ります。
また、全灯状態から明るさボタンを 1 回ずつ押していくと、全灯状態の約半分の明るさで電子音が「ピピッ」と鳴ります。
(押し続けて連続的に変化させた場合は鳴りません。)



段調光

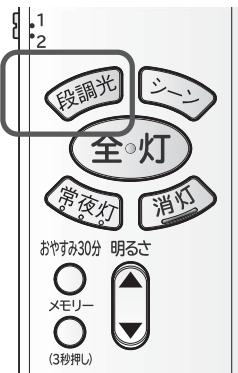
段調光モードは、現在の点灯状態から明るさをおさえて約 30% 消費電力を節電します。

※現在の明るさが、調光下限値付近の明るさの場合、段調光される割合は減少します。

設定のしかた

段調光 ボタンを押す。

※ 2 回目以降は電子音が「ピピッ」と鳴り、さらに段調光はしません。



シーン

調光し、シーンの点灯状態を記憶させて、記憶した点灯状態で点灯します。

※工場出荷時の **シーン** ボタンは、全灯時の約半分の明るさで点灯します。

登録のしかた

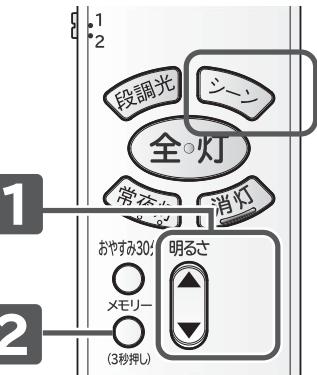
1 明るさ (**▲** **▼**) ボタンでお好みの点灯状態にする。

2 メモリー **○** ボタンを約 3 秒間長押しし、点灯状態を記憶する。

●器具から「ピッ」と電子音が鳴れば記憶完了です。

シーン ボタンを押す。

※記憶した点灯状態を工場出荷時に戻すときは、**シーン** ボタンを約 3 秒間長押ししてください。器具から「ピピッ」と電子音が鳴り、工場出荷時に戻ります。



おやすみ30分

ボタンを押してから、30 分後に自動消灯します。

設定のしかた

おやすみ30分 **○** ボタンを押す。

●器具から「ピッ」と電子音が鳴れば設定完了です。

解除のしかた

おやすみ30分
●設定後、再び **○** ボタンを押してください。
器具から「ピピッ」と電子音が鳴って解除されます。

● **常夜灯** または **消灯** ボタンでも解除されます。

※ **全灯** ボタン、**シーン** ボタン、**段調光** ボタン、明るさ (**▲** **▼**) ボタン
を押しても解除されません。



器具の取り外しかた

1

電源（壁スイッチまたはブレーカ）を切る。

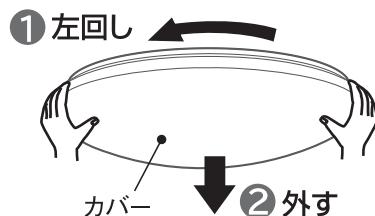
※ ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。

注意

器具取り外しの際は、電源を切る。
(電線を切らないと感電の原因)

2

カバーを左に回して取り外す。

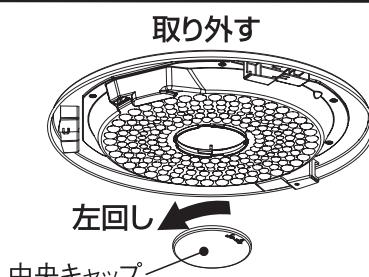


注意

消灯直後の器具は熱いので、時間をおいて本体が十分に冷えてから作業する。
(やけどの原因)

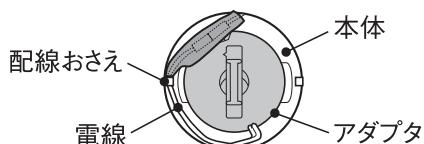
3

中央キャップを左に回して取り外す。



4

アダプタ側の電線を、配線おさえから取り取り外す。



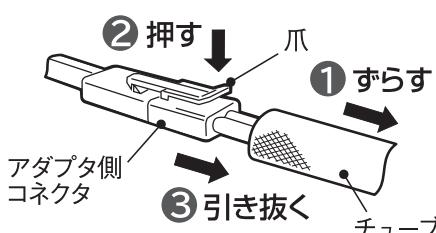
注意

電線を取り外す際には、配線おさえに触れない。(手をけがする原因)

5

コネクタを外す。

●チューブをずらし、アダプタ側コネクタの爪を押しながら引き抜いてください。



注意

コネクタを無理に引き抜いたり、電線を引っぱったりしない。
(電線が断線し、感電、故障の原因)

6

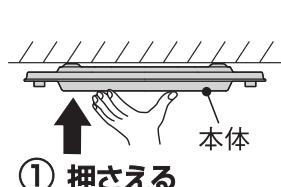
ハンドルの「◀」を「ロック解除」の位置にずらす。



7

本体を外す。

①本体がアダプタから外れた際、落下するので本体中央部をしっかりと押さえてください。

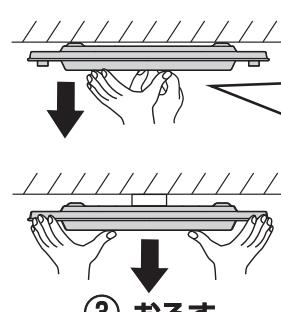


警告

本体が落下しないように、確実に本体を押さえながら作業する。
(手を離すと本体落下によるけがの原因)

②本体を押さえながら、アダプタのハンドルを右に回し、アダプタの爪から本体を外してください。

本体が落下するので本体を押さえてください。



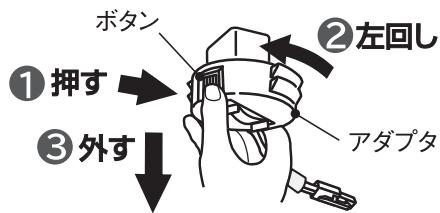
③本体が外れたら、両手で本体を持ち、ゆっくりおろしてください。

器具の取り外しかた（続き）

8

アダプタを外す。

- ボタンを押しながら左方向に回してください。



警告

アダプタを外すとき、ボタンを押さずに無理に回さない。
(角形引掛シーリングなどの破損の原因)

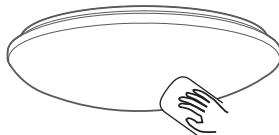
※器具の取り付けかたは → (P.7～9) をご参照ください。

お手入れ

- 明るく安全にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

器具のお手入れ

- 器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落としてください。
- 汚れが落ちない場合は、柔らかい布を石けん水に浸して、よくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
石けんとは天然油脂を原料としたものです。
(商品表示が「石けん」であることを確認してください。)



注意

- お手入れの際は、電源（壁スイッチまたはブレーカー）を切る。（電源を切らないと、感電の原因）
- みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり殺虫剤をかけたりしない。
(割れ、傷、変色および落下によるけがの原因)



器具取り扱い上のご注意

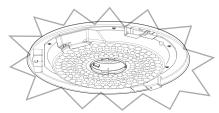
注意

点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているので、触らない。
(やけどの原因)



注意

カバーを外した状態で点灯したLED光源を直視しない。（目を傷めたり、目に悪影響を及ぼす原因）



故障かな？と思ったら

■こんなときは故障ではありません。

- 点灯中や消灯直後、「ピシ、ピシ」「ポツ、ポツ」という音がすることがあります。
プラスチックが伸縮し、摩擦音が生じるためです。
- 照明器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用すると雑音が入ることがあります。雑音が入る場合、照明器具とラジオ・テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。
- 照明器具の交換の目安は、使用環境によって異なりますが、約8～10年が目安です。
- 調光時、照明器具の発光面端部に明暗ができることがあります。

次の点をお調べください

●もしこんな現象が起きたときは・・・

故障と思われる前に下の表にしたがってお調べください。

現象	考えられる原因	処置	ページ
消灯した	●おやすみ30分が設定されている。	●再度点灯してください。	14
明るさが変わった	●短い停電があった。	●短い停電で、壁スイッチの操作のように「点灯状態を切り替える」機能が働く場合があります。再度点灯してください。	12
リモコンを操作しても点灯しない	●壁スイッチがOFFになっている。	●壁スイッチをONにしてください。	4
	●コネクタがきちんと差し込まれていない。	●コネクタを確実に差し込んでください。	8
	●リモコンの乾電池が間違って入っている。	●乾電池を正しく入れてください。	10
	●乾電池が寿命になっている。	●新しい乾電池と交換してください。	10
	●器具本体とリモコンのチャンネルが合っていない。	●チャンネルを正しく設定してください。	11
	●リモコンを壁掛け用ホルダーに入れたまま使用している。	●リモコンを壁掛け用ホルダーから取り出して、器具に向けて操作してください。	4
リモコンを操作しても器具から音がしない	●点灯状態は切り替わるが器具から電子音が鳴らない。	●点灯状態の場合は、リモコンで消灯してから次の操作をしてください。 壁スイッチがONの状態で、リモコンの明るさ「  」ボタンを約10秒間長押ししてください。	12
壁スイッチを操作しても点灯しない	●ブレーカが切になっている。	●ブレーカを入れてください。	—
	●コネクタがきちんと差し込まれていない。	●コネクタを確実に差し込んでください。	8
リモコンで消灯していたが、勝手に点灯した	●2秒以上の停電があった。	●リモコンで消灯していても、2秒以上の停電後に電源が復旧した際は、リモコンで消灯する前の状態で点灯します。	12

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買上げの販売店にご連絡ください。

※万一、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。

すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから、お買上げの販売店に、器具の形名(本体の器具銘板に表示)と現象を連絡のうえご相談ください。

仕様

形名	仕様	定格消費電力 (全点灯時)	定格電圧	定格周波数	常夜灯点灯時 消費電力	消灯時 待機電力
EL-CP4410N (~ 10畳)	32.6W	交流 100 V	50/60 Hz 共用	0.6 ~ 1.1 W (調光状態による)	約 0.6 W	
EL-CP3810N (~ 8畳)	27.8W					
EL-CP3210N (~ 6畳)	23.4W					

- この器具はリモコン機能付き器具のため、リモコンで消灯した状態では上記の待機電力を消費しています。
長時間ご使用にならないときは電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切り、節電を心がけてください。
ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- なお、照明器具本体の故障もしくは不具合より発生した、付随的故障の責については、ご容赦ください。
- 保証期間は、お買上げ日から1年です。ただし、器具内蔵のLED光源・電源ユニットは3年です。
※電池などの消耗品・カバー・リモコン送信機などは対象外とさせていただきます。
- ※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 保証内容は、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。
 - (イ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - (ロ) 施工上の不備に起因する故障や不具合。
 - (ハ) 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ニ) 車両、船舶、水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などの故障および損傷。
 - (ホ) 日本国以外での使用による故障および損傷。
 - (ヘ) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わぬことによる故障および損傷。

アフターサービスについて

●修理を依頼されるとき

ご使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買上げの販売店にご連絡ください。

1. 保証期間内の場合

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。

2. 保証期間を過ぎている場合

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

点検・診断のみでも有料となることがあります。

修理料金は、技術料+部品代（+出張料）などで構成されています。

技術料・・・故障した製品を正常に修復するための料金です。

部品代・・・修理に使用した部品代金です。

出張料・・・製品のある場所へ技術員を派遣する料金です。

3. ご連絡いただきたい内容

品名	LED シーリングライト
形名	本体発光面側に表示（カバーをはずしてください）
お買上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども
お名前	
お電話番号	
訪問希望日	

●補修用性能部品の保有期間

当社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店へお申しつけください。

・お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、別紙の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」の各窓口へお問合わせください。

・家電品の購入相談・取り扱い方法は「ご相談窓口」へ

・家電品の修理の問い合わせ・修理の依頼は「修理窓口」へ

●お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供
いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。

2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。

3. あらかじめお客様からご了了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報
を提供・開示することはありません。

①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合

②法令等の定める規定に基づく場合

4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

●この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

便利メモ	お買上げ販売店名
	電話番号

愛情点検 ★長年ご使用の照明器具の点検を！



ご使用の際、
こんな症状は
ありませんか？

- コケくさい臭いがする。
- 器具に触れるとピリピリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

→ ご使用中止

故障や事故防止の
ため、スイッチを切
り、必ず販売店に
ご相談ください。

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729 (営業本部)
☎(0467)41-2773 (品質保証部サービス課)